



西原町

# まかいたより

今回の表紙題字 西原東小学校4年

仲宗根 なかそね

悠日都 はると さん



2019年(令和元)年  
12月1日発行

No. **82**



12月6日(金)午前10時12月定例会開会予定

令和元年10月6日(日)第14回 西原東中学校 体育祭

「Let's try together」輝け努力の結晶！その最高の瞬間 君と共に「を」をテーマに  
競技や演武を全力で表現し、楽しみました。





宮里 芳男 議員

この一般質問の内容は、会議録(反訳文)に基づいて各議員が質問の部をまとめ、本委員会が最終確認編集をしたものです。各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。

者もいる。事前説明は。  
福祉部長 (1) 年収360万円未満は、保育料無償化と同時に副食費も免除され、主食費500円のみ徴収。(2) 年収360万円以上は主食費500円、副食費5,500円徴収を行う予定  
(1)(2)は坂田保育所の場合。  
(3) 実質的に負担はなく、逆転現象も発生しない。(4) 町保育連協にて各施設長に説明。町でもチラシを作成し、各保育施設から保護者に説明していく。

(2) 6月定例会では保育士が24名不足とのことでしたが現在の不足人数は。(3) 保育士不足による現在の定員割れは。  
福祉部長 (1) 8月末時点で0才〜2歳児は98名、3才〜5歳児は39名の待機児童である。(2) 9月初日の時点で、公立一園、認可四園、地域型保育事業所二園で合計19名不足。(3) 保育士不足が要因で76名。

は、全国63・8%、県内68%、町内74%。算数は全国66・6%、県内68%、町内72%。中学校では、国語は全国72・8%、県内68%、町内70%。算数は全国59・8%、県内53%、町内51%となっている。  
その他の質問項目  
○県道那覇北中城線の進捗状況  
○県道浦添西原線の進捗状況

◇保育料無償化について

問 今年10月より幼児教育・保育無償化が始まる。(1) 10月以降の総収入額360万円以下の保育料は。(2) 10月以降の360万円以上の保育料は。(3) 実質負担が増える可能性は。(4) 全面無償化になると副食費も無料になるかと思っっている保護

◇保育士不足及び待機児童を問う

問 (1) 令和元年8月現在の待機児童数は。(ア) 0才〜2才児、(イ) 3才〜5才児。

◇全国学力学習状況について

問 全国学力テストが小学校、中学校で行われました。(ア) 全国平均は。(イ) 県内平均は。(ウ) 西原町内の平均は。  
教育長 (ア) (イ) (ウ) について、小学校国語の平均正答率



◇沖縄を代表する空手家の町民表彰

問 沖縄の空手は今や世界約190か国、1億人余の空手愛好家を有するまでに普及し、2020年の東京オリンピックの競技種目にも採用。今日の沖縄空手の隆盛は、戦前戦後にかけて多くの先達の労苦、頑張りのたまもの。わが西原町にも沖縄・日本



与那嶺 義雄 議員

デンティティ、ウチナーンチュの魂だとし、しまくとうばが消滅すれば、ウチナーンチュやあらんでいぬくとうヤイビン」と緊急アピールをする。本町のしまくとうば普及事業の基本的な考えをお聞きます。  
教育長 (しまくとうばは地域の伝統と豊かな文化を再認識し、地域愛を育むものと考える。

いる。しまくとうばの復興運動はマブイクミだとの強い観点が必要ではないか。  
教育長 (しまくとうばが大事だといふ共通認識を持っているものだと思う。  
その他の質問項目  
○町民の保有する(株) 新中糖産業株の有効活用について

※(国場幸太郎著「沖縄の歩み」・岩波現代文庫より)

を代表する空手家の大家が存在する。町棚原出身の伊波清吉氏と宮里昌栄氏(故人)は共に30代前半にそれぞれ米国とアルゼンチンに渡り、今や世界各国に支部を持つまでになった。そのお二方の師匠が我謝出身の小林流志道館開設者の宮平勝哉氏(故人)である。名譽町民表彰を検討してはどうか。

◇母語の喪失としまくとうばの復活

問 (しまくとうばの普及団体は危機感を募らせ、「しまくとうばは沖縄文化の基層で、言語は文化伝子で何よりもアイ

問 戦前の生徒たちへの徹底した「方言狩り」に心を痛めた教師のコメント、「言語生活に損ねられて人間そのものが縮こまり、卑屈になってしまつ。言葉」を授けようとして、「人を殺してしまつ」。この指摘は、今の私たちの意識や行動様式に引き継がれている。方言を排除する歴史の中で魂(マブイ)を落として



R元.5.28 琉球新報紙面



伊集 悟 議員

◇子どもの小さなSOSを見逃すな

問 前回提案したいじめ、虐待、体罰、パワハラ等の早期発見の包括的アンケートへの改変は重要、有益だと思つが。

教育部長 (体罰やパワハラ、虐待はあってはならない。児童生徒と保護者や教職員との信頼関係

◇読書活動が盛んな本町後退は許されない

問 図書費、新聞費の削減について、6月議会で「今年度中に何らかの措置を検討」とのことでした。3ヶ月経過し、進捗状況は。  
教育部長 (9月から町人材育成会より幼小中にて図書費10万円。小中に新聞2紙配備。また各小中に新聞用の書見台各1台の寄贈も受けた。

◇教職員の長時間労働しわ寄せは子どもたちへ

問 昨年、中学校教職員の過労死ラインの月の残業時間80時間超え22%、100時間超え8%15%あったが、改善状況は。  
教育部長 (中学校の80時間超えはほぼ横ばい。しかし、月1000時間超えは僅かに減少。部活動休養日等の効果だと考えている。

問 沖縄県教職員働き方改革推進プランの1年目の目標

(正確な勤務実態、時間外勤務の把握)に合わせ、イオン琉球が取り組むWAOONカード無償提供の地域貢献事業及び町内企業からソフト機器の無償提供の提案をしたが検討状況は。  
教育総務課主幹 (県の今年の方

◇新電力で電気料の削減を

問 昨年から町施設の新電力への切替えによる経費削減を提案。本庁舎で試験的導入を進めるとのことでした。進捗状況は。  
総務部長 (昨年からの情報収集、財政効果の見込める企業と7月契約。9月から新電力会社から供給開始。売電卸供給と合わせ年間80万円の財政効果を見込んでいる。

その他の質問項目

○児童生徒の登下校、学校内の安全確保  
○6月の小波津川氾濫の被害

この一般質問の内容は、会議録(反訳文)に基づいて各議員が質問の部をまとめ、本委員会が最終確認編集をしたものです。各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



議員 上里 善清 (うえざと よしきよ)

この一般質問の内容は、会議録(反訳文)に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認編集をしたものです。各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画をご覧いただけます。

◇行財政改革について

財政難を打開するため各事業の見直しや廃止も含め年度に向けての取り組みを伺う。

- 問 (1) 各事業の再編の取り組み。
- (2) 国庫補助がなくなった「事業数とその廃止」。

総務部長 (1) 毎年の事業計画のヒヤリング、ローリングを行

い各事業の優先順位を見極めて、スクラップ&ビルドを進める。

企画財政課長 (1) 福祉事業において重複した事業があり今回の整理の対象としたいと思う。

総務部長 (2) 国庫補助が廃止された事業は10事業。次年度に、外出支援サービス事業・介護用品支給事業の2事業を廃止する方向で検討。

企画財政課長 (2) 10事業の事業費は1億3,000万円。事業の大きなもので妊婦健診事業3,000万円、地域活動支援センター事業630万円、障害者支援事業460万円などカットの難しい経費もあり、今のところ廃止の結論に至らない。今回の2事業は交付税措置もなく廃止の判

断ができるので、調整している。

◇幼保無償化について

無償化に伴う予算はおおむね8,000億円と見積もっており、その内1,000億円は地方の負担となっており負担率になると12.5%になる。2点について伺う。(1) 従来の制度による町負担額。(2) 無償化実施後の町負担額。

福祉部長 (1) 私立保育園については利用者負担額総額1億3,600万円に対し、3,800万円の軽減を実施。公立保育所は155万円の軽減を実施。(2) 無償化実施後、町負担分は4分の1を乗じた場合、3,410万円となり390万円

りやすく示す」こととなっている。課題は、規制や事業が先行し現状追認型である。明確な目標像、短期・中長期的な整備プランがない。社会情勢を取込めていない。専門的で一般町民には分かりづらいなどあるが。都市整備課長 平成13年度都市マスタープラン策定後、市街化プログラムを策定したが、次期改定の見直しがされていない。その改定を急ぐべきだと考える。



その他の質問項目  
○来年9月執行の町長選挙について  
○タブレット導入について  
○教育行政について

◇新年度予算編成はどうする！

令和2、3、4年度の三年間、国保赤字補填に約2億9千万円。扶助費は毎年約一億円の増。さらに消防庁舎新設や消防車両等の負担金が増すがどう取り組むのか。

企画財政課長 5月から事業計画を作成し6月にヒヤリングを行い、歯止めのかかない扶助費



議員 真栄城 哲 (まへしろ てつ)

も精査を行い他町村よりも早目の要求を促している。

◇ふるさと納税！

活かせてますか

問 昨年度、ふるさと納税で町が得た税収と控除された税の差額はこうなっているのか。

企画財政課長 他市町村への寄付額約2千8百万円、その控除

額約1千3百万円。頂いた納税額は590万円でマイナスである。

◇実現性のあるまちづくり

都市マスタープランの大きな目的は何か。

都市整備課長 都市計画法で「市町村が住民の意見を反映しつつ、将来のまちのあるべき姿、まちづくりの基本的な方針をわか

◇PPP/PPFの活用を！

問 国・地方の財政が厳しい中、「社会資本整備や既存の施設の維持」等にかかるコストの問題。民間は主力の公共事業が減り、少ないパイの奪い合いにな

る。課題は、規制や事業が先行し現状追認型である。明確な目標像、短期・中長期的な整備プランがない。社会情勢を取込めていない。専門的で一般町民には分かりづらいなどあるが。都市整備課長 平成13年度都市マスタープラン策定後、市街化



時代の流れを捉え積極的な行動が大切

◇継続事項について！

問 (1) オキコ株式会社崎原土地改良区への開発行為

に関しては道路用地取得や道路整備についても同企業の企業投資でおこなっている。町も積極的に関わってほしいがどうか。

上岡町長 (1) 町も可能な限り用地交渉に向けたお手伝いをしていきたい。

◇大型MICE事業の

取り組みについて！

問 東海岸サンライズ推進協議会の大型MICE振興に関する早期開催要請を受けて(1) これまで大型MICE振興に関する協議会の開催を県に求めな

かったのは何故か。(2) 県の大型MICE施設整備計画の改定



議員 崎原 盛秀 (さきはら せいしゅう)

地を受け入れ環境整備の基礎調査で、費用は2,930万円である。

◇小波津川2級河川整備事業の早期整備を！

問 去る6月26日の集中豪雨時には平園ハイッ地域で床下

浸水が起こり、隣接するさわぶじ

保育園前の冠水状況が全国ネットで放映され、全国の県内関係者から反響があったようだ。(1) 平園地域の冠水被害を未然に防ぐため町から県への早期整備要請を行うべきと思うがどうか。(2) 平園橋の撤去に伴う迂回道路の検討について伺う。(3) 冠水時の水中ポンプ等の備品提供や貸し出しの検討について伺う。

建設部長 (1) 町・県事業に

その他の質問項目  
○国道329号西原バイパスについて  
○伊是名村との交流事業について

この一般質問の内容は、会議録(反訳文)に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認編集をしたものです。各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画をご覧いただけます。



やびく みつる 議員 屋比久 満

この一般質問の内容は、会議録(反訳文)に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認編集をしたものです。各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画をご覧いただけます。

### ◇那覇広域都市計画の町長の見解を質す

**問** (1) 本町の市街化調整区域は町土の何割か。(2) 那覇広域11市町村の東西格差を聞く。

**町長** (1) 本町の市街化調整区域の割合は約60%である。(2) 西海岸の那覇市浦添市宜野湾市に

おいては、基地以外はほぼ市街化区域で、西原町が約40・1%、北中城村が約22・8%、中城村が8・1%、与那原町が52・5%で、市街化区域について東西格差が如実に数字で表れている。サンライズ協議会で広域的に活性化に取り組む。

### ◇千葉県の合同資源による東崎2号井を質す

**問** (1) ヨウ素の埋蔵量を聞く。(2) 本町と合同資源や民間と協力して企業誘致を聞く。

**町長** ヨウ素の埋蔵量は本島中南部で67万トンで東崎2号井で6万2,000トン、純度は99・9%と高品質な調査結果が出ている。(2) 引き続き合同資源

等と協議を進めながら検討する。

### ◇土地区画整理事業を質す

**問** (1) 西地区の土地区画整理事業の進捗率と事業完了年度を聞く。(2) 西地区居住者の家賃補助世帯数と補助額を聞く。

**建設部長** (1) 進捗率は平成31年3月末現在49%である。完了年度は令和8年度を目標としているが予算や補償交渉の状況によつて更に伸びる可能性がある。(2) 仮住居等の家賃補償件数は20件で、補償額の合計は約2,400万円である。

で支出している可能性はある。

### ◇公園行政を質す

**問** 6月議会で東崎公園のバスケットコート補修予算が無い答弁があったが現在の状況を聞く。

**建設部長** 現在修繕工事を行っており9月末完了予定である。

### ◇農水産物流通加工観光拠点施設を質す

**問** 現時点での工事金額と完成までの総事業費を聞く。

**建設部長** 前年度と今年度の工事契約額は約8億4,400万円、総事業費は14億5,200万円の予定である。

### ◇徳佐田区画・幸地事業が頓挫か

**問** 西地区区画整理事業はH18年に開始され、完了予定のH32年を大幅に過ぎるR8年までの長期化が決まり、合わせて徳佐田地区等の土地区画整理事業が頓挫の様相であるが、今後の対応を問う。



なかまつ つとむ 議員 仲松 勤

**町長** 意見交換会で事業が決定したと皆さんが早計に捉えたのか、説明不足なのか判断しかねる。

**問** 西地区事業のR8年までの事業工程はできているか。

**都市整備課主幹** ほぼできている。

**問** 区画事業において他市町村同様に仮換地中で使用収益

のない土地について固定資産税の100%減免へ要綱修正はできないか。

**町長** これまでの事業との整合性を勘案し部分減免で実施する。

**問** 固定資産税は現況主義であり減免は本人の申請が必要だが、

**総務部長** 要綱上は確かに申請主義だが、200名近い地権者の状況では、町長職権・代理で減免措置の手続きを行っている。

### ◇町民の声を行政に

**問** 「農地を宅地化へ」との小波津自治会からの要請は、

**建設部長** 細工舛・上屋部地区は都市マス中心核に位置づけし、前原・安世良地区は農業振興の方針。

**問** 住宅増加に伴う道路排水等の整備との掛保久自治会要

の中で、町財政計画との整合性も図りながら検討する。

土地区画整理事業のポイント説明	
土地区画整理事業法 <第101条1項>	
仮換地の指定により使用又は収益が無くなったことで損失を受けた場合は、通常生ずべき損失を補償しなければならない	
固定資産減免率	西原町：30% (減歩率) 浦添市・南風原町・八重瀬町・糸満市：100% 減免



みやま ひろふみ 議員 宮里 洋史

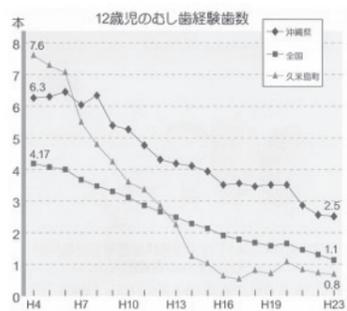
### ◇フッ化物洗口の安全性

**問** 子育て・教育のフッ化物洗口の確認。フッ化物洗口は、しっかりとした運用を持てば、全く危険があるものではないという認識でよろしいか。

**教育部長** 学校歯科医や学校薬剤師の管理下のもと、適切に実施するというのであれば安全

性は保たれると考えている。

**提案** フッ化物洗口は本来に必要だと思っている。特に集団で行うというのが大事。いろいろな子供たちの環境の格差があるが、歯の健康格差も広がっている。この健康格差をなくすためにも、みんなで執り行うことが私は必要だと思つ。今後ともフッ化物洗口の導入に向けて要請していく。



### ◇官民連携で新しい財源・場所を

**問** 新たな財源をふるさと納税、ネーミングライツ、そ

してPPPで、提言するのはもちろん理由がある。まずは財政再建をしたい。そして年収を上げたい。一番はその後、教育、子育て、町興しにしたい。そのために新たな財源を生む事業は西原町で喫緊の課題である。PPPについても、私の中では東崎公園、町民体育館、船溜まりもある。この公共施設を活用していいか。その許可できる場所なのか、どういった事業ができるのか。そのような研究は町として行っているか。

**企画財政課長** PPP、PFIの法律というのは規制緩和の法

律だということ、私はセミナーに参加して聞いており、これまでできなかった土地もPFI事業を入れるのであれば許可がおりるといふふうに聞いている。それであれば可能性は高いのではないかなと思う。議員も行かれたということですから、公園PFIというのも、この前セミナーであったので、御提案のあった施設というのは可能性は高いのではないかなというふうに考えている。

#### その他の質問項目

- 観光ポータルサイトの運用状況は
- 熊本県西原村との姉妹都市締結は
- 子ども医療費助成制度の拡充
- 放課後児童クラブへの補助
- 西原町ネーミングライツ

この一般質問の内容は、会議録(反訳文)に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認編集をしたものです。各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画をご覧いただけます。

この一般質問の内容は、会議録(反訳文)に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認編集をしたものです。各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



西原まさもり 議員 喜納 昌盛

◇町政全般について  
第22回西原まつり、町制施行40周年記念と謳われているがその内容は。

総務部長 厳しい財政状況のため町制40周年に特化したプログラムは無いが、テーマを慶祝、記念として開催して頂く。

◇町政全般について  
ペルー共和国の西原町人会創立100周年記念事業への町の対応は。

総務部長 祝儀については、これまでと同じく現金で対応する。総務課長 三線とかの件は、管理、保管等十分対応できるかの心配もあり、会の運営資金として10万円を準備している。

◇町政全般について  
個人番号カードを年内に全公務員に実質的な義務化を政府は計画しているが、町の対応は。又、二〇二二年三月には健康保険証として本格運用することだが、町民への対応は。

総務部長 町の職員については、県市町村共済組合から申請書

◇県単位化となった国保制度

問

昨年度より県単位化となった国保だが、構造的な問題だけでなく「前期高齢者財政調整制度」により沖縄県は全国より交付金がいかに少ない状況が続いている。町のひっ迫した財政状況に対して、県繰入金活用を要請することはできないか。

町長 特別交付金として赤字解消分に対する交付を受けており新たな繰入金事業としての要請は厳しい。

前期高齢者の加入割合の低い要因は、先の大戦による地上戦や収容所生活の影響がある。町の平成29年度一人当たり前期高齢者交付金額はいくらか。

福祉保険課長 4万6,400



清 清 議員 与儀 清

◇火葬場建設の問題

本町は財政難である。しかも今しばらくは改善の見込みはなく、葬祭場を建設するにあたって、一番の問題はお金がないことである。しかしながら葬祭場はなくてもよい公共施設ではない。この世に「オギャー」と生を受けたからには、ほぼ例外なく

一度はお世話になる施設である。しかもその必要性は年々高くなり、今でも3日ほど待たされることを考えると悠長なことを言っている場合ではないと思う。ゆえに資金的に苦しいのであれば、民間の力による葬祭場建設を提言するものである。それでお聞きする。西原町例規によれば、火葬場を建設するにあたって、設置場所に関する条件が2つ、設置に関する条件が6つ。以上8点をクリアすれば民間でも葬祭場建設は可能だと理解してよいか。

総務部長 墓地等の経営主体では、火葬場を経営できるのは地方公共団体、公益社団法人または公益財団法人、宗教法人となっている。また、火葬場の建設について



伊計 裕子 議員

円となり、那覇市が5万円ということ、西原町が低いということになる。

◇幼児教育の無償化

問 県社会福祉施策・予算対策協議会が県に対して、幼保の給食無償化を市町村と連携し、県独自の施策として実施するよう要望したとある。町としても他

市町村と連携し、要望してはどうか。

町長 他市町村の状況を見ながら、今後判断していきたい。給食費のみ施設が徴収の際、滞納が起こった時にどういう対応を考えているのか。こども課長 滞納が生じた場合については、担当課が助言等を行いながら、手続きの方法や文書の作り方等の話し合いなど意見交換を行っている。各園については、口座引き落としと徴収袋で対応をと今取り組んでいる状況である。

問 認可外保育施設において猶予期間の5年を待たずに準備を満たせるよう条例制定等の予定はあるか。

福祉部長 既存の補助事業を

が届いており各自がJ・L・Sに申請予定。厚生労働省はマイナンバーカードや保険証を用いたオンラインでの資格照会と高額医療費の限度額認定情報等を提供する為導入を進めており、取得促進に向け情報提供、担当部署の福祉保険課と町民課の連携強化していく。

◇町政全般について  
以前、町は県に対して伝統芸能会館及び空手道会館の誘致を進めたがMICE施設に取って代わった経緯がある。今、県は伝統芸能会館建設に向けた動きがあると聞いているが、サンライズ協議会で中城城跡整備計画の中に誘致できないか提起し

問 芸能会館及び空手道会館の誘致を進めたがMICE施設に取って代わった経緯がある。今、県は伝統芸能会館建設に向けた動きがあると聞いているが、サンライズ協議会で中城城跡整備計画の中に誘致できないか提起し

市町村と連携し、要望してはどうか。

町長 他市町村の状況を見ながら、今後判断していきたい。

問 給食費のみ施設が徴収の際、滞納が起こった時にどういう対応を考えているのか。

こども課長 滞納が生じた場合については、担当課が助言等を行いながら、手続きの方法や文書の作り方等の話し合いなど意見交換を行っている。各園については、口座引き落としと徴収袋で対応をと今取り組んでいる状況である。

問 認可外保育施設において猶予期間の5年を待たずに準備を満たせるよう条例制定等の予定はあるか。

福祉部長 既存の補助事業を

問 今までは民間ですから、お金があつたら造っていい、ないんだつたらなくてもいい施設ではないと私は思っている。ぜひ誠意ある答弁を。

生活環境安全課長 現在の町の条例上では、民間事業者が火葬場を経営することはできない。将来的にそういった民間事業者の活用を考える場合、条例の見直しを含めて検討をする必要がある。

その他の質問項目  
○東部消防の出動件数について  
○プレミアム商品券の進捗状況  
○小橋川の問題について

町長 所管する文化観光スポーツ部の文化振興課への確認では国立劇場おきなを中心とする一帯を考えており、サンライズ推進協議会で提起できないか話し合ってみたい。

その他の質問項目  
○大型ヘリやオスプレイの西原町内での夜間飛行の実態を町は把握しているか。  
○プレミアム商品券の取り扱いの現状  
○町長3期目の最後の一年、公約を含めた施策の総点検と次期への考えは。

活用し基準を満たせるよう対応を行うっており、今後も改善を図っていく予定である。基準を満たしたかどうかの判断は、県が実施するため例規等の対応の予定はない。

その他の質問項目  
○介護保険制度  
○会計年度任用職員



◇園芸セミナーについて

問 産業観光課が毎月行っている「園芸セミナー」の参加状況と評判は。

建設部長 平成26年6月から開催し、計31回開催している。参加延べ人数は626名。参加された多数の方々から好評をいただいている。

その他の質問項目  
○東部消防の出動件数について  
○プレミアム商品券の進捗状況  
○小橋川の問題について

この一般質問の内容は、会議録(反訳文)に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認編集をしたものです。各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。

この一般質問の内容は、会議録(反訳文)に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認編集をしたものです。各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画をご覧いただけます。



議員 大城 純孝

### ◇本町の財政状況と決算について

**問** 本町の厳しい財政状況の中であと何年くらいを見込んでいるのか伺う。そしてどのように町政を進めるのか伺う。

**総務部長** 昨年11月に公表した西原町財政シミュレーションと対策で10年間のシミュレーション

を行った。これに基づくと令和9年まで行政需要は高い状況が続くと見込んでいる。少なくとも国保赤字解消計画期間の令和5年度までは現在の状況であると考えている。

**問** 財政諸資料の中で単年度収支マイナス3,900万円(平成29年度)になっているがこれは国保繰出だけが要因なのか伺う。

**総務部長** これについては平成29年度決算統計の額になる。単年度収支とは歳入総額から歳出総額を差し引き翌年度に繰越すべき財源を引いた実質収支から前年度の実質収支を引いた額となる。この額については、平成29年度は国保会計への法定外の繰

### ◇本町の将来の土地利用について

**問** 那覇広域都市計画で県は「市街化区域」「市街化調整区域」を定める区域区分制度のあり方を検討する協議会を設置したが西原町の取り組みについて伺う。

くりのあり方について、議会や町民の皆様が町政運営の評価や意見を言いやすい形で示す方法として策定しており、中長期的な視点に立ち、総合計画的なものであると考えている。

(2) 基礎自治体総合計画の実態調査結果報告書、平成28年9月940団体の内、計画期間中の総合計となっている。総合計画はな

**町長** 本町として都市計画の現状そして将来の土地利用の考え方、今後の県の区域区分制度及び市街化調整区域の規制緩和等の見直しの動向を注視しながら県と調整していきたいと思う。

**問** 大型MICE関連の土地利用について県との協議はどうか。

**町長** 他市町村と連携しながら県との協議を進めたい。

定していない方に入っている。

- その他の質問項目
- 国連の定めるSDGs西原町の取り組み
- 食品ロス削減法
- 幼児教育無償化と給食費

### ◇西原町総合計画の必要性

**問** まちづくりの基本的な理念や目標、方針などを定める基本計画、基本構想に基づく具体的な施策を示す総合計画が廃止されて8年余。

(1) 西原町総合計画廃止の理由は。 (2) 総合計画の策定されていない市町村は。

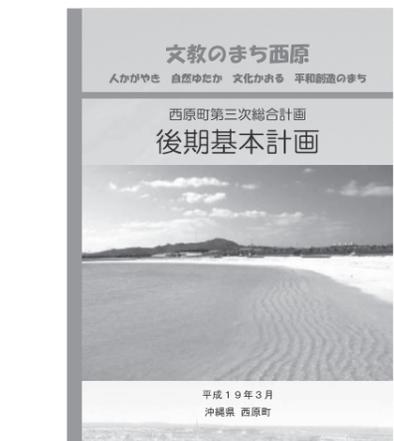


議員 長浜 ひろみ

基本構想では町の将来像とまちづくりの基本的な考え方が位置づけられているが、その基本構想部分に変わるものとして制定され、町政運営を進めている。

これはこれまで総合計画の幹となる部分をまちづくりの4つの基本方針に基づき、各種個別計画や実行計画を位置づけて町政運営を行っており、今後のまちづ

いと答えた自治体は16自治体、あると答えた自治体は924自治体。計画期間中の総合計画はないと答えた自治体は16自治体と なっている。



### ◇ごみ収集とリサイクル

**問** 燃えるゴミの11%は生ごみで5%削減できたら町の負担額はどれだけの金額になるか伺う。

**総務部長** 燃えるごみを年間5%削減すると、約960万円の費用削減が見込まれる。

### ◇資源ゴミ回収補助金

**問** これまで資源ごみ収集している各種団体、自治会に2万円補助金を交付していた。今年度から予算が厳しく補助できないとのことだが予算確保できないか伺いたい。

**総務部長** 財政事情により今年度から当面の間休止しており、再開のめどとしては、はっきりし

### ◇国民健康保険の赤字対策

**問** レセプト点検で同じ薬を複数の医療機関で処方されているケースで191人の対象者があり、一人一年間10件以上の方が4人、最高件数12件との答弁があったが、その後どのような指導したか。

**福祉部長** 重複受診が確認できた63名中3名の方に指導を行っている。その後の確認では、3人とも重複受診を継続していた。今後の対策としては、特定保健指導、糖尿病等の重症化予防対策を重点に行いつつ、定期的に重複受診者をリストアップし、特定健診未受診者受診勧奨や保健指

導と合わせて指導していきたいと考えている。

**問** ジェネリック医薬品は先発医薬品と比べて価格が3割から5割安い。ジェネリック医薬品の促進対策と利用割合を伺う。

**福祉部長** 保険証郵送の際に、ジェネリック医薬品希望シールを同封している。ジェネリック医薬品使用割合は、今年6月の調剤時点が87.8%となっている。

- その他の質問項目
- ごみ袋と消費税について
- 農道整備について



議員 正行 まさゆき 平良 たいら

### ◇一般廃棄物処理計画

**問** 町の減量化目標は令和3年度までに再生利用率20%の目標値を設定しているが達成の状況を伺う。

**総務部長** 令和3年度までに目標達成することについては、現状からすると大変厳しいものがある。

この一般質問の内容は、会議録(反訳文)に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認編集をしたものです。各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画をご覧いただけます。

この一般質問の内容は、会議録(訳文)に基づいて各議員が質問の部をまとめ、本委員会が最終確認編集をしたものです。各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



おおしろ せいいち 議員 大城 誠



要がある。9月末の申請も受け付けたうえで対応を行う。

### ◇幼児期からの虫歯予防対策

**問** 町の虫歯予防対策に、歯の健康について相談指導を図るとともにフッ素塗布の普及啓発を図るとあるが。

**福祉部長** 乳幼児健診などの機会を捉え、虫歯予防のためのフッ素塗布の効果や定期的な塗布の必要性などを保護者に説明している。

### ◇町内小学校へフッ化物洗口を導入をしよう

**福祉部長** フッ素塗布について、1歳6か月の乳児検診において、フッ素塗布の機会があるが、フッ素塗布を受ける乳児の割合は。

では、保護者の意向を確認し、ほとんどのお子さんがフッ素塗布を行っている。

**問** フッ素塗布は、虫歯の予防に効果があると考えていいか。

**健康支援課長** 現時点で適正に使用されればフッ素塗布は虫歯予防に有効だと判断している。

**問** フッ化物洗口のどの行為が医療行為なのか。

**教育部長** 昭和59年当時の中曾根首相の国会答弁において「フッ化物洗口液を養護教諭が希釈することは違法ではない」と述べている。医療行為という答弁に関しては、「学校における集団フッ化物洗口導入に反対する陳情」における文教厚生委員会の見解から引用した。

**問** 3月定例議会において教育長は、先進地の情報を収集しながら、子供の口に入れるものだから、やはり安全の確保を確実に行わないと実施できないと答弁していた。先進地には行ったか。

### 議会傍聴に来ませんか

西原町議会では、定例会を年4回(3月、6月、9月、12月)及び臨時会を随時、開催しています。予算や条例等の議案審議、一般質問、陳情・請願の採択など住民生活に関わることを議論しています。会期日程等については、決まり次第、随時、議会のホームページでお知らせします。ぜひ、議会傍聴にお越しください。お待ちしております。



西原町議会議事堂

### 表紙の題字と写真をお寄せください



### あなたの作品を議会だよりに掲載しませんか?

表紙の題字【「議会だより」の文字。横書き】と写真を募集しています。うまいへたは関係ありません。子どもから大人まで、生き生きとした題字と写真をお待ちしています。

送付先

議会事務局(担当:漢那)

Tel. 945-5122

Fax. 945-5045

Mail: gikai\_jimu@town.nishihara.okinawa.jp



### 第4回臨時会 6月28日

議案番号	議案名	議決結果
議案第28号	工事請負契約締結について(西原町農水産物流通・加工・観光拠点施設新築工事(建築 R1-1))	原案可決
議案第29号	工事請負契約締結について(西原町農水産物流通・加工・観光拠点施設新築工事(電気 R1-2))	原案可決



### 第5回臨時会 8月16日

議案番号	議案名	議決結果
議案第31号	令和元年度西原町一般会計補正予算について	原案可決
議案第32号	動産の取得について	原案可決

### みなさんからの陳情・意見書・決議はこうなりました

9月定例会で審査した陳情・意見書・決議の結果を報告します。

	件名	提出者	採決方法及び付託委員会	結果
陳情第812号	安心安全な町道整備に関する要請書	掛保久自治会	建設産業常任委員会	採択
陳情第813号	小波津前原・安世良・細工外・上屋部地区の農用地区域からの除外の申し出について(要請)	小波津自治会	建設産業常任委員会	採択
陳情第817号	地元産品推奨及び地元企業優先使用について(要請)	西原町商工会	本会議即決	採択
陳情第818号	県産品の優先使用について(要請)	沖縄県工業連合会	本会議即決	採択
陳情第820号	公共工事発注に際しての事業用自動車(緑ナンバー)使用に関する陳情	沖縄県トラック協会	本会議即決	採択
陳情第823号	西原町放課後児童クラブの質の確保を求める陳情	西原町学童保育連絡協議会	文教厚生常任委員会	採択
陳情第824号	令和2年度理科教育設備整備費等補助金予算計上についてお願い	日本理科教育振興協会	本会議即決	採択
意見書6号	西原町バイパス(仮称)の早期事業化及び全線バイパス安を求める意見書	3 常任委員長	本会議即決	原案可決
意見書7号	米軍 CH53E 大型輸送ヘリコプターからの窓落下事故に関する意見書	上里 善清他 3 議員	本会議即決	原案可決
決議第5号	米軍 CH54E 大型輸送ヘリコプターからの窓落下事故に関する抗議決議	上里 善清他 3 議員	本会議即決	原案可決

# 令和元年第6回定例会 議案議決結果

議案第33号	新たに生じた土地の確認について	原案可決
議案第34号	字の区域の変更について	原案可決
議案第35号	町道路線の変更について（内間小那覇線）	原案可決
議案第36号	平成30年度西原町水道事業未処分利益剰余金の処分について	原案可決

## <新規条例>

議案第37号	西原町下水道事業に地方公営企業法の規定の全部を適用することに伴う関係条例の整理に関する条例について	原案可決
議案第38号	西原町公共下水道事業特別会計条例を廃止する条例について	原案可決
議案第44号	西原町立幼稚園保育料徴収条例を廃止する条例について（文教厚生常任委員会付託分）	原案可決
議案第47号	西原町森林環境譲与税基金条例について	原案可決
議案第51号	西原町会計年度任用職員に関する条例について	原案可決

## <条例の一部改正>

議案第39号	西原町下水道条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第40号	西原町水道事業給水条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第41号	西原町情報公開条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第43号	西原町の保育等の利用者負担に関する条例の一部を改正する条例について（文教厚生常任委員会付託分）	原案可決
議案第45号	西原町税条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第46号	西原町固定資産税の課税免除に関する一部の一部を改正する条例について	原案可決

## <補正予算>

議案第48号	令和元年度西原町一般会計補正予算について	原案可決
議案第49号	令和元年度西原町国民健康保険特別会計補正予算について	原案可決
議案第50号	令和元年度西原町土地区画整理事業特別会計補正予算について	原案可決

## 来年4月からの国民健康保険税の値上げについて賛否が分かれました。

議案第42号	西原町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	本会議	賛成多数で原案可決
--------	----------------------------	-----	-----------

**本会議での反対討論 主旨** 本町は他の市町村のように国保赤字の抑制のための法定外繰入を十分にしていなかった。結果、教育や福祉の予算削減、都市計画の遅れもつながっている。国保財政管理の失敗である。赤字の解消計画の期間の延長と法定外繰入を一定枠内で継続し、町民の負担を緩和をすべきである。それらを再検証し、12月議会に再提出を求める。

**本会議での賛成討論 主旨** 本町の国保保険料は県内でも低い水準であり、これまで町民は優遇されてきた。しかし、今後、小学校や給食センター、消防庁舎の建設などもある。県が示す標準課税税額を踏まえ、国保財政の安定のためにも値上げは止むなしと考える。また住民へ十分の周知や説明の時間が必要であり、今議会で決定すべきである。

	宮里芳男	真栄城哲	伊計裕子	与儀清	崎原盛秀	伊集悟	屋比久満	長浜ひろみ	上里善清	大城誠一	平良正行	喜納昌盛	新川喜男	宮里洋史	大城純孝	仲松勤	与那嶺義雄	前里光信	大城好弘
本会議 賛否	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	欠	議長
委員会 賛否	○	-	委員長	-	-	○	-	欠	-	-	-	○	-	-	-	-	×	-	議長

※賛成は○。反対は×。欠は欠席。

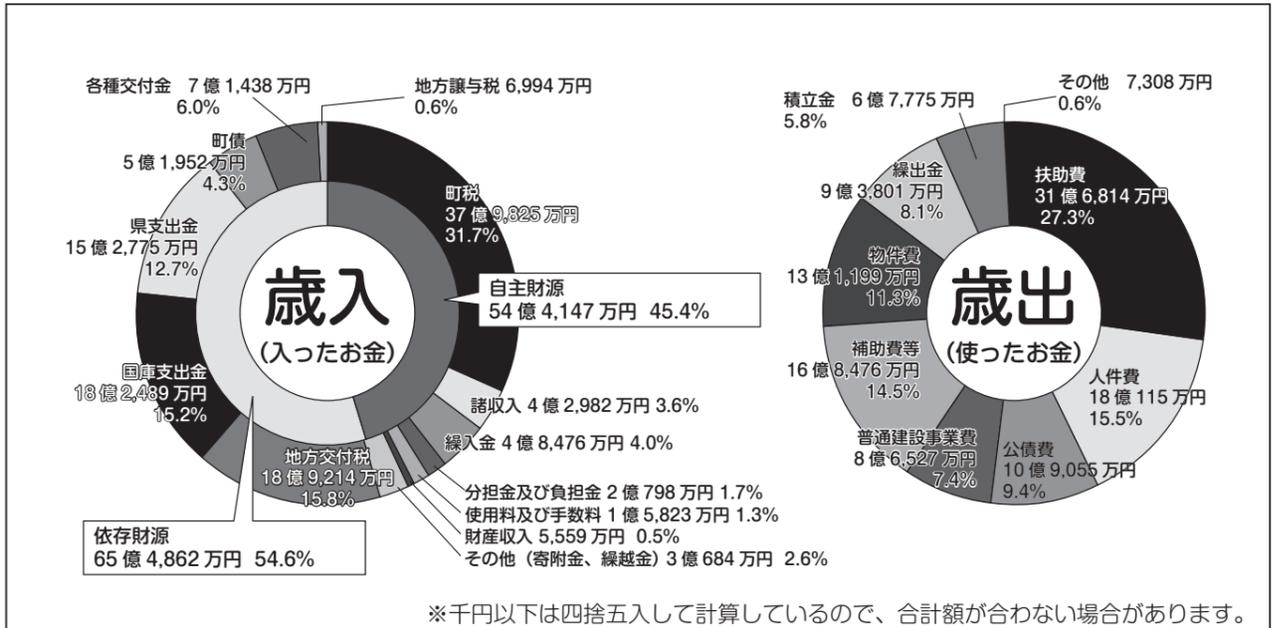
# 第6回定例会 平成30年度決算審査

9月6日～25日



第6回定例会は、9月6日から25日まで20日間の会期で行われ、一般質問、補正予算、条例修正、新規条例や平成30年度決算などの審議を行いました。

決算では決算特別委員会を設置し、該当事項を所管する各常任委員会に付託し、財務処理の全体を通して、その執行が適正、公平かつ能率的、合理的に行われたか否かの適否を審査しました。その結果、全議案について、全会一致で認定しました。



## 歳入における自主財源と依存財源とは

町の歳入は、町税、分担金及び負担金、使用料及び手数料などのように町が自ら収入額を見積もり賦課徴収することのできる自主財源と、国庫支出金、県支出金、地方交付税、地方譲与税などのように国や県から定められた額を交付されたり割り当てられたりする依存財源とに区分できます。

地方公共団体が自主性を発揮して行政をすすめるためには、自主財源の拡充が必要です。

## 平成30年度 一般会計・特別会計決算の状況

区分	歳入			歳出		
	決算額	前年増減額	前年比	決算額	前年増減額	前年比
一般会計	119億9,009万円	▲3億6,108万円	▲4.3%	116億1,075万円	▲4億4,442万円	▲3.7%
特別会計						
国民健康保険	40億6,664万円	▲10億8,996万円	▲21.1%	49億9,391万円	▲11億1,322万円	▲18.2%
公共下水道事業	5億2,553万円	▲11億0,729万円	▲17.4%	5億1,189万円	▲1億562万円	▲17.1%
土地区画整理事業	3億2,212万円	▲1億5,745万円	▲32.8%	3億1,766万円	▲1億5,150万円	▲32.3%
後期高齢者医療	2億6,367万円	2,063万円	8.50%	2億6,248万円	2,046万円	8.50%

# 議 会 活 動

## 総務財政常任委員会

総務財政常任委員会（真栄城 哲委員長）は8月22日、行財政改革推進に関する事務調査として、自治会長会からの陳情案件（陳情第795号）の追跡調査や自治会加入の取り組み等について担当課長等からヒアリングを行いました。

## 先進地視察研修



鹿屋市職員によるPPP/PFI事業についての説明

総務財政常任委員会（真栄城 哲委員長）は10月15日から17日にかけて、本町職員の業務効率化に向け、熊本県荒尾市へAI(RPA)を活用した取り組み及び鹿児島県鹿屋市へ官民連携(PPP/PFI)による事業展開について視察調査を行った。AIを活用した結果、単純作業に割かれていた時間を政策立案に充てられている。また、官民連携により、財政負担の平準化や公有財産の有効活用、地域活性や民間投資の誘発等が期待できる。これからの時代に即し期待できる事業で、積極的に取り組む価値は大いにあると感じた。

## 建設産業常任委員会

建設産業常任委員会（大城純孝委員長）は9月3日、西地区土地区画整理事業に関する事務調査として、担当課長等から事業の進捗状況等について聞き取り調査を行いました。

## 議員研修

### —中部地区町村議会議員・事務局職員研修会—

沖縄県中部町村議会議長会（德里直樹会長・嘉手納町議会議長）主催の研修が、8月23日に西原町で、「ペーパーレス議会システムについて」をテーマに開催され、本町議会からも21人が参加し、資質の向上に努めました。

### —町村議会議員・事務局職員研修会—

沖縄県町村議会議長会（識名盛紀会長）主催による研修が10月11日に糸満市で開催され、講師の明治大学教授の牛山久仁彦（うしやま・くにひこ）氏は、「町村議会の現状と課題について」、沖縄科学技術大学院大学研究員の吉村正志（よしむら・まさし）氏は、「沖縄県における外来性アリ類の対策について」それぞれ講演されました。本町議会からも19人が参加しました。



町村議会議員・事務局職員研修会

## 題 字 制 作 者

議会だより  
第82号



西原東小学校4年  
仲宗根 悠日都 さん

### 【ひとこと】

字を書くときは、とても緊張しました。今、ほくは、テニスやピアノを頑張っています。テニスの試合では、一試合でも多く、勝ってみたいです。

つづやき

月ぬ走いや馬ぬ走い

（月日は駿馬のかけ行くようにあつという間に過ぎていく）

沖縄の年中行事は、旧暦をみても新暦をみても行事でいっぱい。そして行政・学校とそのほかの行事表をみても、一年（三百六十五日）では足りないくらいある。それでも、一年でおさめなければいけない。

今年も残すところあとひと月。

議会広報誌も一年に四回、皆様に届けておりますので、ぜひ、ご愛読ください。

朝夕、肌寒くなりました。しかし、これからが冬本番ですよ。（トウンジービーサ・ムーチャービーサ）風邪などひかない様、健康でよい年を迎えてください。

（新川喜男）

### 9月議会の傍聴者

延べ人数

45人

議会だよりに対するご意見、ご要望はこちらへ

西原町議会事務局  
TEL:098-945-5122